

IBM 3592 テープ・カートリッジ

企業向けに設計された大容量テープ・メディア

ハイライト

- データへの投資を保護
 - 容量の増加と柔軟性の向上
 - データ・セキュリティの強化
 - 優れた信頼性の実現
-

今日の企業のデータセンターでは、前例のないデータ保護の問題に直面しています。また、予算の削減に対処すると同時に、データ保存、セキュリティ、および可用性に対する要求の増加に対応していかなければなりません。

IBM® 3592 テープ・カートリッジは、企業のデータセンターが、これらの課題に対処するのに役立つように設計されています。

投資保護

数千個ものカートリッジを保持するエンタープライズ・テープ・ライブラリーでは、最新のテクノロジーの状態に容易に保つことができるかどうかは、テープ・メディアのアップグレード・コストが大きく影響します。IBM 3592 テープ・カートリッジは、ドライブが前世代のメディア・カートリッジを再フォーマットし、アップグレードすることでメディアの再利用を可能にしています。つまり、既存のメディア・カートリッジでパフォーマンスと容量の両方を改善して、テープ・サブシステムのアップグレードへの影響を軽減します。

柔軟性の向上

迅速なデータ・アクセスやメディア・コストの削減が必要な管理者に対して、IBM は 2 種類のサイズの 3592 テープ・カートリッジを用意しています。IBM エコノミー・カートリッジは、短い長さでありながら、スタンダード・レンジスのカートリッジと同じ品質とメリットを提供します。このショート・レンジス・カートリッジはより低コストで、シーク時間の短縮も可能です。

データ・セキュリティの強化

データは、お客様の会社がイノベーション、拡張性、競争上の優位性を向上させるのに役立ちます。データを保護できないと、ビジネスの中断、生産性の損失、マイナスのお客様満足度、および規制違反によるペナルティーが生じる可能性があります。IBM 3592 テープ・カートリッジは、Write Once Read Many (WORM) カートリッジ、暗号化、テープ・ドライブと連携してのカートリッジ寿命モニター機能などでデータを保護するように設計されています。これらの機能が連携して、保管されているデータが損失や破損から保護されます。

優れた信頼性

企業のデータセンターの厳しい標準を満たすために、IBM 3592 テープ・カートリッジは、パフォーマンスと使用量の記録を保管するメモリー・チップを備えています。これらの記録は、テープ・ドライブの交換が必要かどうかをプロアクティブに判別するのに使用されます。このカートリッジは厚いプラスチック、超音波溶接手法、改ざん防止ねじを利用して、不注意による損傷を防止しています。また、メディアは、極めて滑らかで均一な磁性層を使用し、メディアの信頼性とパフォーマンスを高め、テープ・ヘッドの摩耗を最小限に抑制する滑らかなコーティング技術を使用しています。



提供形態

IBM 3592 テープ・カートリッジは 1 パック 20 個で提供され、クリーニング・カートリッジは 1 パックに 5 個で提供されます。データ・カートリッジは、EBCDIC 初期化あり、または初期化なしにて購入できます。IBM 3592 テープ・カートリッジとクリーニング・カートリッジはどちらも、IBM テープ・ライブラリーで使用するのに必要なラベルあり、あるいはラベルなしで購入できます。



特長	メリット
メディア再利用と再フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> 投資を保護 テープ・ドライブのアップグレード時にメディアを変更する必要なし メディアの変更もライブラリー・サイズの増加もなく、容量を増加
カートリッジの強化	<ul style="list-style-type: none"> 不注意による落下を防止 データの保護に貢献
パーティション/IBM Spectrum Archive†	<ul style="list-style-type: none"> ミドルウェアを排除し、テープ管理コストを削減可能 テープに保管されているデータをファイル・ツリー構造で表示することによって、使いやすさを改善 エンターテイメント、製造、医療の環境でテープ・テクノロジーを活用するための新しい機会を生み出す
仮想バックヒッチ・サポート*	<ul style="list-style-type: none"> 小さいファイルの読み取り/書き込みのパフォーマンスを向上 メディアの摩耗を削減
業界標準の暗号化*	<ul style="list-style-type: none"> 暗号化されたデータをテープに書き込むことによって、ユーザーがセキュリティの問題に対処可能 TS1120 以降のすべてのテープ・ドライブ間の互換性
高解像度テープ・ディレクトリー†	<ul style="list-style-type: none"> 高速検索が可能 高速データ検索によってシステム・パフォーマンスを向上
Statistical Analysis and Reporting System (SARS)*	<ul style="list-style-type: none"> テープ・ドライブでカートリッジの寿命と使用量をモニター カートリッジ障害によるデータ損失を排除 データ保護を強化
メディアの拡張	<ul style="list-style-type: none"> 迅速アクセス・モードで標準テープを使用可能
エコノミー・カートリッジ	<ul style="list-style-type: none"> メディアの長さを縮小することによってデータに高速アクセス カートリッジあたりのコストの削減により所有コストを削減
データ・セーフ・モード	<ul style="list-style-type: none"> 標準 3592 カートリッジを使用して WORM と同様の保護を提供

カートリッジ容量

	TS1140					TS1150				TS1155			
	JJ/JR	JA/JW	JB/JX	JC/JY	JK	JC/JY	JK	JD/JZ	JL	JC/JY	JK	JD/JZ	JL

ネイティブ容量 (GB)

第 1 世代	60**	300**											
第 2 世代	100**	500**	700**										
第 3 世代	128**	640**	1,000										
第 4 世代			1,600	4,000	500	4,000	500			4,000**	500**		
第 5 世代						7,000	900	10,000	2,000	7,000	900	10,000	2,000
第 5A 世代												15,000	3,000

カートリッジ容量

ドライブ・タイプ	3592 J1A			TS1120			TS1130		
カートリッジ・タイプ	JJ/JR	JA/JW	JJ/JR	JA/JW	JB/JX	JJ/JR	JA/JW	JB/JX	

ネイティブ容量 (GB)

第 1 世代	60	300	60	300		60	300	
第 2 世代			100	500	700	100	500	700
第 3 世代						128	640	1,000



仕様の詳細については、次の Web サイトをご覧ください。製品仕様。

● 製品仕様の詳細な情報をご覧ください。

注: 圧縮された容量は、オペレーティング・システムやドライブ・モデルの圧縮パフォーマンスによって異なります

詳細情報

IBM 3592 テープ・カートリッジの詳細については、日本 IBM 営業担当員またはビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/systems/jp-ja/storage/media/cst/3592/



© Copyright IBM Corporation 2017

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
May 2017

IBM、IBM ロゴ、ibm.com および IBM Spectrum Archive は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は自己の責任で関連法規を遵守しなければならぬものとします。IBM は法律上の助言を提供することはいたしません。また、IBM のサービスまたは製品が、お客様がいかなる法規も遵守されていることの裏付けとなると表明するものでも、保証するものでもありません。IBM の将来の方向性および指針に関する記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するものにすぎません。

実際に使用可能なストレージ容量は、データが展開されているか圧縮されているかにより変動するため、記載された値よりも小さくなる場合があります。

* TS1120 以降のテープ・ドライブで使用する
場合

† TS1140 以降のテープ・ドライブで使用する
場合

** 読み取り専用



Please Recycle